

平成20年産マンゴー栽培暦(7月出荷型)

月	10			11			12			1			2			3			4			5			6			7			8			9		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
生育相	花芽分化期									出蕾期			開花期			生理落果			収穫期			夏梢伸長期			秋芽伸長期											
温度	できるだけ20以下									25~27			30																							
管理	2.0			1.0						2.0~2.2			2.4																							
水管理	控える			断水						灌水50mm			やや少なめ 1.0日おき5mm			1.0日おき10mm			十分灌水																	
管理作業	・ 摘心 ・ 土壌改良材施用									・ 加温開始			・ 混合花の摘葉 ・ ミツバチ放飼			・ 花のつり上げ(30%) ・ 施肥			・ 摘果(20%) ・ 施肥			・ 遮光ネット ・ 果実のつり上げ			・ 芽かき(50%) ・ 剪定			・ 誘引								
病虫害防除	い出か Cて蓄い ボ月期よ ルにう ド1収病 1回穫 56の期 06防を 倍D除除			モス スリップ 2ラ 0ンス 0水 0溶 倍剤						炭 ル病 1 0ト 0水 0和 倍剤			炭 アミ 1フ 0口 0ア 0ブ 倍ル			炭 サン 1 5 0 0 倍剤						かい Cポ ド 1 6 6 D 5 0 倍			アス ド 0 0 0 0 倍剤			かい ポ ド 1 6 6 D 5 0 倍								
備考	摘芽秋図花 心芽芽芽 すすす るかた確 る芽らめ ををを			断水後の灌水は総枝数の3割以上が出蕾後、開始する。ミツバチに影響ある農薬の使用に注意する。						加温は総枝数の7割以上が出蕾後、14から開始する。			混合花については早期に摘葉を促進する。			開花期の温度は最高30、最低20を厳守する。灰色かび病対策として灌水を控える。			生理落果終了後、最終的に1花房あたり1個に整理する。摘果は2、3cmに達したら初期肥大を促す。			ヤニ果は土壌水分の急激な変化、高温(35)で発生する。助長する。また、果実生育期の最低温度を24で維持することができ、発生を推さえること			剪定は8月上旬までに終了する。			収穫終了後は灌水量を増やし夏梢の発生を促す。								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><b>肥培管理</b> 年間N量 17kg/10a (収量 1.5t/10a)</p> <p>出蕾期 30% (速効性) 果実肥大期 20% (速効性) 収穫後 50%</p> </div>																																				

農薬使用基準は平成20年1月21日時点のものです。使用前にラベルをよく読み安全基準を守りましょう。